

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第2主日 2nd Sunday in Ordinary time(C)

イエスは最初のしるしをガリラヤのカナでおこなわれた (ヨハネ2・11)

This was the first of the signs given by Jesus at Cana in Galilee(Jn 2・11)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun.10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事： 成人のお祝い 新年会 50周年事業実行委員会

ミサの前は祈りの時間です。沈黙を守りましょう。

成人式・新年会

来週1月17日(日)ミサ後に成人のお祝いと新年会を開きます。ご参加下さい。

成人のお祝い

ヨハネ 水越 章さん
フランチェスカ 平 桃子さん

初聖体の準備

2016年5月29日(日)「キリストの聖体」の祝日に初聖体を行います。準備の勉強会を10時クラス・16時クラスとも2月28日(日)から始めます。該当するお子さんをお持ちの親御さんは井出ブラザーにお申込み下さい。対象は2016年4月現在で小学校3年生です。

シュロの枝の回収

今年の「灰の水曜日」は2月10日です。去年の枝を回収していますので1月31日までに教会にお持ちください。

献堂50周年記念事業第3期献金報告

2015年第3期結果報告(12月末現在)

申込者数：137名(目標：200名)

献金合計：2,467,265円(目標：3,000,000円)

1期からの合計は8,206,263円です。

今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら佐々木満夫・佐藤隆一にお聞きください。

First Communion Application until Jan. only

The office is ready to accept application for 1st Communion on May 29, 2016 of children, baptized & at least 3rd grader. For application form, please ask the office.

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 8,206,263 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

Blessed Palm Leaves

Ash Wednesday, the beginning of Lenten season, is scheduled on Feb.10. The office requests everyone to return to church the blessed palm leaves distributed last year, not later Jan.31.

ウルスラ修道会でのミサ

1月21日(木)、2月25日(木)。おいしいランチ付です。ご参加下さい。

共同祈願の祈り

主の栄光はかぎりなく
世々に及ぶ。

その他今後の予定

01月17日(日) 年間第2主日 成人のお祝い 新年会
01月24日(日) 年間第3主日
01月31日(日) 年間第4主日
02月07日(日) 年間第5主日
02月10日(水) 灰の水曜日 Ash Wednesday

今週の掃除は1月23日(土)

中・東葛西です。よろしくお願ひいたします。
This Week's Church Cleaning Duty January
23rd Saturday
Naka・Higashi-kasai Group

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第2主日』C年

今日の福音 ヨハネによる福音 (2:1-11)

〔そのとき、〕ガリラヤのカナで婚礼があつて、イエスの母がそこにいた。イエスも、その弟子たちも婚礼に招かれた。ぶどう酒が足りなくなつたので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりました」と言った。イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあつた。いずれも二ないし三メトレテス入りのものである。イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。世話役はぶどう酒に変わった水の味見をした。このぶどう酒がどこから来たのか、水をくんだ召し使いたちは知っていたが、世話役は知らなかつたので、花婿を呼んで、言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわつたころに劣つたものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取つて置かれました。」イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行つて、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

A Reading from the Holy Gospel according to John (2:1-11)

Jesus, the bridegroom

There was a wedding at Cana in Galilee. The mother of Jesus was there, and Jesus and his disciples had also been invited. When they ran out of wine, since the wine provided for the wedding was all

finished, the mother of Jesus said to him, "They have no wine." Jesus said, "Woman, why turn to me? My hour has not come yet." His mother said to the servants, "Do whatever he tells you." There were six stone water jars standing there, meant for the ablutions that are customary among the Jews; each could hold twenty or thirty gallons. Jesus said to the servants, "Fill the jars with water," and they filled them to the brim. "Draw some out now" he told them "and take it to the steward" They did this; the steward tasted the water, and it had turned into wine. Having no idea where it came from - only the servants who had drawn the water knew—the steward called the bridegroom and said, "People generally serves the best wine first and keep the cheaper sort till the guests have had plenty to drink; but you have kept the best wine till now."

This was the first of the signs given by Jesus: it was given at Cana in Galilee. He let his glory be seen, and his disciples believed in him.

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、
この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には楽園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、
心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることが
できますように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてくだ
さい。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されてい
る人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメ

ン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会です。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）